



PRESS RELEASE

2014年10月30日

インドネシアでLNGプラントの基本設計役務を受注

日揮株式会社

日揮株式会社（JGC CORPORATION）（代表取締役会長 佐藤雅之、横浜本社 横浜市西区みなとみらい2-3-1）は、PT Rekayasa Industri 社、KBR インドネシア社、および当社の現地法人 JGC インドネシア社と共同で、BP が主導する共同事業体がインドネシア共和国西パプア州で推進するタンゲーLNG プロジェクトの追加工事に係わる基本設計役務（FEED: Front End Engineering Design）を受注致しましたので、お知らせします。プロジェクトの詳細は下記の通りです。

記

1. 契約先： BP ベラウ社(BP Berau, Ltd.)
2. 建設場所： インドネシア共和国 西パプア州ビンツニ地区
(Teluk Bintuni, West Papua Province, Republic of Indonesia)
(首都ジャカルタの東約 3,200km)
3. 契約： 年産 380 万トンの LNG プラント増設に係わる基本設計役務
4. 受注金額： 非公表
5. 競争スキーム： Dual FEED
6. 納期： 契約発効日より 1 年
7. プロジェクトの概要：

タンゲーLNG プロジェクトは、インドネシア共和国西パプア州にて開発されるオフショアガス田から供給される天然ガスを液化するプロジェクトで、当社は、2005 年より既存 2 トレーン（2009 年より生産開始）の設計・機材調達・建設工事役務を KBR 社等と共同で遂行してまいりました。第 3 トレーンの追加により、プラント全体の生産能力は年産 1,140 万トンに達する予定です。

今回の基本設計役務の受注にあたっては、同プロジェクトにおける知見、LNGに関する高い技術力、ならびにコマーシャル面からのアプローチが総合的に評価されたものと思われま

す。日揮は世界の LNG プラント全生産量のうち約 30%の建設実績を保持し、現在もインドネシア、豪州、ロシア、マレーシア、およびカナダで数多くの LNG プロジェクトを遂行しています。今後も当社は LNG のトップコントラクターとして、積極的な営業展開を図っていく所存です。

以 上

お問い合わせ先：日揮（株）広報・IR 部
齊藤／星島
TEL 045-682-8026
E-mail : saito.takuya@jgc.com
hoshijima.ryosuke@jgc.com